

採水地点図

湯ノ沢川（滝野沢橋）

本山処理施設から直線で約3.6km下流

地理院地図
GSI Maps



②岩木川（鷹ノ巣橋）

津軽ダム堤体から直線で約3.1km下流

地理院地図
GSI Maps



【出典】 国土地理院地図（電子国土web）を加工して利用

旧尾太鉱山本山処理場施設からの未処理坑廃水の流出に係る河川の水質調査結果

採水日:令和4年8月17日

項目 調査地点 ^{※1}	①湯ノ沢川 (滝野沢橋)			②岩木川 (鷹ノ巣橋)		
	測定値	参考 (ろ過後)	環境基準値等	測定値	参考 (ろ過後)	環境基準値等
pH ^{※2}	7.2	-	-	7.3	-	6.5以上8.5以下
SS ^{※2} (浮遊物質) (mg/L)	35	-	-	240	-	25 以下
カドミウム (mg/L)	<0.0003	<0.0003	0.003 以下	<0.0003	<0.0003	0.003 以下
鉛 (mg/L)	0.004	<0.002	0.01 以下	0.018	<0.002	0.01 以下
砒素 (mg/L)	<0.001	<0.001	0.01 以下	0.004	<0.001	0.01 以下
亜鉛 ^{※2} (mg/L)	0.036	0.005	-	0.062	0.001	0.03 以下
全マンガン (mg/L)	0.19	0.05	0.2 以下 (要監視項目の 指針値 ^{※3})	0.39	<0.02	0.2 以下 (要監視項目の 指針値 ^{※3})

…環境基準値等超過(太字)

公共用水域の水質調査は、通常、採水日前において比較的晴天が続き水質が安定している日を選び採水し、環境基準等への適合を確認するものです。今回は、大雨により河川が濁っている状況での水質調査ですが、参考として、環境基準値等と比較しています。

なお、SS(濁り)を取り除いた検体では、両地点全ての項目で、環境基準値等を下回っていました。

- ※1 滝野沢橋及び鷹ノ巣橋は、公共用水域の水質測定実施地点として、毎年度県が水質調査を実施している地点です。
- ※2 pH、SS、亜鉛については、河川A・水生生物Aに類型指定されている岩木川(鷹ノ巣橋)では基準値が設定されていますが、類型指定されていない湯ノ沢川(滝野沢橋)では基準値が設定されていません。
- ※3 要監視項目とは、人の健康の保護に関する物質、あるいは有用な水生生物等の生息又は生育環境の保全に関する物質ではあるが、現時点では直ちに環境基準健康項目とはせず、引き続き知見の集積に努めるべき項目として定められているものです。そのうち、全マンガンは人の健康の保護に関する物質に該当します。